

校長通信

第4号 令和6年7月8日

サウスバーリントン高校との交換留学

サウスバーリントンから訪れていた生徒14名と引率の先生2名は、短期留学研修を終え、アメリカに旅立ちました。あっという間の11日間でした。ホスト校として6年ぶりということがあって、経験している教員も少なく不安もありましたが、なんとか無事に終えてほっとしています。

留学生との交流を通じて、生徒の皆さんは、日ごろの英語学習の成果を発揮することができたでしょうか。授業で英語を学んでも実践する機会がなければ、身につけているかわかりません。私も歓迎セレモニーでは英語で挨拶をしましたが、どう外国の方に聞こえているのか不安でした。理解できたと言われ、うれしく思いました。

生徒の皆さんはどうだったでしょうか？自分の英語が通じて、学習の成果に満足している生徒、学習不足を痛感し、がぜん勉強に励む意欲に燃えた生徒など様々だと思いますが、運動部に公式戦という本番があるように、実践（あるいは実戦）の必要性を感じたところです。



ところで、歓迎セレモニーでの英語の挨拶ですが、元は ChatGPT です。私の要求はこうです。

「今月、アメリカのサウスバーリントン高校から14名の生徒と2名の引率の先生が、約10日間、短期交換留学で本校を訪れます。初日の歓迎会で、受け入れ校長として英語でどういう挨拶をすればよいでしょうか。」その回答が原型になっています。

これまで何度か触れましたが、ChatGPTは当たり障りのない無難な挨拶は得意です。要求にしっかりと答えてくれます。（「アメリカンジョークを一つ入れてください」と言ったら、本当に入れてくれました。）そのため個性的なものにはなりません。教育実習生の建部先生の大学では、レポートに ChatGPT を使うことは厳禁だそうです。使っているかどうかはすぐにわかると言います。

ちなみに次の文は、遅刻の反省文の書き方を尋ねた際の回答です。こんな反省文をあなたが書いたら、間違いなくばれると思いませんか？

この度、私は遅刻を5回もしてしまい、大変申し訳ありませんでした。以下に、反省の意を込めて、遅刻の原因と今後の改善策について述べさせていただきます。

まず、遅刻をした理由は、朝の準備に時間がかかりすぎたこと、目覚まし時計の設定ミス、交通機関の遅延などが挙げられます。しかし、これらは言い訳に過ぎず、自分の管理不足が最大の原因であると深く反省しています。遅刻を重ねることで、先生方やクラスメートに迷惑をかけてしまい、自分自身の信頼も失ってしまったことを痛感しています。このような事態を招いたことに対し、心からお詫び申し上げます。今後は、以下の点に注意して、再発防止に努めます。

早寝早起きの習慣をつける

夜更かしをせず、十分な睡眠をとることで、朝の目覚めをスムーズにし、余裕をもって行動できるようにします。

目覚まし時計の複数設定

一つの目覚まし時計に頼るのではなく、複数のアラームを設定し、確実に起床できるようにします。

前日の準備をしっかりと行う

前日のうちに翌日の準備を整え、朝の慌ただしさを軽減します。特に、服装や持ち物の確認を徹底します。

交通機関の遅延情報を事前に確認する

交通機関の遅延が予測される場合、早めに家を出るなどの対策を講じます。

今回の遅刻により、先生方やクラスメートにご迷惑をおかけしたことを深く反省し、二度と同じ過ちを繰り返さないように努力いたします。どうか、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。